

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】令和 3 年 5 月 13 日 (2021.5.13)

【公表番号】特表 2020-516549 (P2020-516549A)

【公表日】令和 2 年 6 月 11 日 (2020.6.11)

【年通号数】公開・登録公報 2020-023

【出願番号】特願 2019-555497 (P2019-555497)

【国際特許分類】

B 6 5 D 65/00 (2006.01)

B 6 5 D 65/40 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/01 (2018.01)

C 0 8 K 3/11 (2018.01)

C 0 1 B 39/48 (2006.01)

【 F I 】

B 6 5 D 65/00 A

B 6 5 D 65/40 D

C 0 8 L 101/00

C 0 8 K 3/01

C 0 8 K 3/11

C 0 1 B 39/48

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 29 日 (2021.3.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

揮発性有機化合物の吸着のための包装材料であって、包装材料の表面にコーティングを含み、コーティングがパラジウムドープゼオライトの粒子とポリマー性バインダーを含み、ゼオライトが C H A 骨格タイプを有する、包装材料。

【請求項 2】

ポリマーフィルムを含み、ポリマーフィルムが、エチレン酢酸ビニルフィルム、低密度ポリエチレンフィルム、高密度ポリプロピレンフィルム、ポリプロピレンフィルムまたは高耐衝撃性ポリスチレンフィルムから選択される、請求項 1 に記載の包装材料。

【請求項 3】

ゼオライトが、ドープゼオライトの全重量に基づいて 0.2 ～ 2 重量 % パラジウムを含む、請求項 1 または 2 に記載の包装材料。

【請求項 4】

ゼオライトが 100 : 1 以下のシリカ対アルミナモル比 (S A R) を有する、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の包装材料。

【請求項 5】

単一のポリマーフィルム層を含み、ポリマーフィルム層がポリマーフィルム層の 1 つの表面に塗布されたコーティングを有する、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の包装材料。

【請求項 6】

単一のポリマーフィルム層を含み、単一のポリマーフィルム層がポリマーフィルム層の両表面に塗布されたコーティングを有する、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の包装材料。

【請求項 7】

ゼオライトが水素型である、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の包装材料。

【請求項 8】

包装材料が、ポリマーフィルム、容器用蓋、または包装インサートから選択される、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の包装材料。

【請求項 9】

包装材料が、瓶の蓋、クラムシェルボックスの蓋、ストリップまたはパッドから選択される、請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の包装材料。

【請求項 10】

揮発性有機化合物の吸着のためのパラジウムドープゼオライトの使用であって、ゼオライトが、C H A 骨格タイプを有し、かつ包装材料の表面のコーティングに組み込まれており、コーティングが、ポリマー性バインダーとパラジウムドープゼオライトの粒子とを含む、使用。

【請求項 11】

揮発性有機化合物が有機物に由来する、請求項 10 に記載の使用。

【請求項 12】

揮発性有機化合物がエチレンである、請求項 10 または 11 に記載の使用。

【請求項 13】

パラジウムドープゼオライト粒子とポリマー性バインダーとを含む、包装材料に塗布するためのインクであって、ゼオライトが C H A 骨格タイプを有する、インク。

【請求項 14】

水中に、水溶性バインダーと、C H A 骨格タイプを有するパラジウムドープゼオライトの粒子とを含む、請求項 13 に記載のインク。

【請求項 15】

パラジウムドープゼオライト対水溶性バインダーの重量比が、3 : 1 ~ 19 : 1 である、請求項 13 または 14 に記載のインク。